

図書館 だより

No.80



2010.10

Fuji Women's University Library

古本屋物語

保育学科 こやま 小山 みつと 充道

私は子どもの頃から古本屋めぐりをしていました。新しい本を買う金銭的ゆとりがなかったのです。小学生の頃、初めて訪れた古本屋は父親がよく通っていた本屋でした。

驚いたことに古本は値段が結構高く、定価よりも高い本がたくさんありました。このとき絶版本は値打ちがついて高額になりやすいこと、金銭は問わない古本収集マニアがいるということも知りました。中学生のときはルパンやシャーロックホームズ、江戸川乱歩など推理小説を読みたいという理由で、図書部に所属しました。高校時代は新聞部に入り編集を通して社会に触れる機会をもちましたが、この新聞にちょっとしたコラムを書いたりもしました。大学時代は古本屋めぐりが楽しみの時間となり、隣町の古本屋まで足を伸ばしたものです。大学院生になると古本屋は私にとって研究生生活のひとつの場となり、東京に行ったときは神田の古本屋街を一日かけて歩き回ることもよくありました。暑い日、専門領域の古典文献が見つかると思議にも汗が引きました。大学院時代は毎日何かしら文献を集め読んでいたので、だんだんと古本に対する意識は「古本屋」から「古本」、つまり古典的文献へと移っ



家族が憩う巨大フリーマーケット「Big Top」右奥に筆者が通った古本屋がある。価格は3ドル程度（フロリダ州タンパにて）

ていきました。ある日、神田の古本屋で須藤新吉著『ヴントの心理学』という1923年発行の古本を見つけ購入。1832年生まれの心理学の祖、ヴントの考え方に初めてふれました。ヴントは心理学を科学として位置づけるために、無意識と言う概念を排斥した人です。しかし活動感情と緊張感覚は意識の統一の主観的特徴としてこれを「注意」と名付け、主観という臨床的要素を心理学の研究対象として残したのです。ヴントの苦心のあとが窺われます。その後、ヴントの原著および翻訳「民族心理学—人類発達の心理史」（1959年 誠信書房）、「体験と認識—ヴィルヘルム・ヴント自伝」（2005年 東北大学出版会）にあたりました。原典にあたると、著者の声が聴こえてくるようです。古い文献からは、古い時代に生きた著者の生き様や人間性が映し出され、大変価値があることを知りました。

大学教員になってからは徐々に古本屋との付き合いは薄くなり、“古本そのもの”に関心が移っていきま

C O N T E N T S

古本屋物語……………	①
小山 充道	
新規データベース利用案内……………	③
本館展示紹介 学生さんのオススメ本コーナー……………	④
中国の車窓から……………	⑤

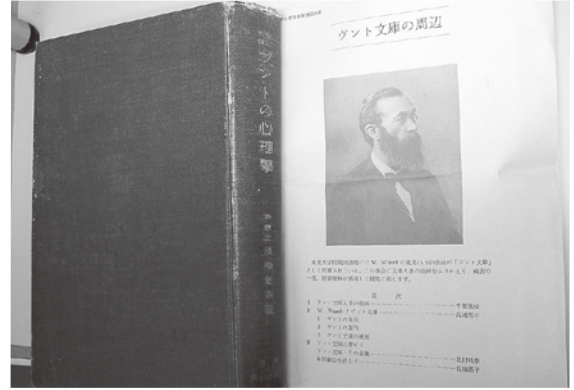
中学生の大学図書館体験……………	⑥
図書館委員会からのお知らせ……………	⑦
図書館のキャラクターを募集します！……………	⑦
人事異動のお知らせ……………	⑦
図書館員のオススメ本 第9回……………	⑧

した。こんなエピソードがあります。心理学の試験問題を作る際、根拠資料が必要となり、古い心理学文献を探しました。一つはKretschmer, E. (1921) (相場均訳1960「体格と性格: 体質の問題および気質の学説によせる研究」文光堂)、もう一つはSpranger, E. (1922) (伊勢田耀子訳 1961「文化と性格の諸類型」明治図書出版) です。これら古い文献が伝える内容については、研究者でさえも案外孫引きで済ませていることも多いのも事実です。私自身も原著の翻訳さえ読んだことはありませんでした。藤女子大学図書館の蔵書検索にかけたところ、2冊とも北16条館にありました。その本は翌日に私の手元に届きました。なんと素早い対応でしょうか！図書館職員の働きに感謝です。その後、藤女子大学図書館には、このような古典的文献がたくさん眠っているということがわかりました。ちなみに本学の蔵書数(図書)はおおよそ35万冊あり、すでに書架狭隘化が問題となっています。図書館委員である私には、古い文献の価値を見定める仕事待ち受けています。これは結構大変な作業です。ともあれ本年4月に赴任した私は、これから本学図書館を大いに利用したいと思っています。

蛇足ですが、洋書の専門書を扱っている古本屋をインターネットであたるなら、“US amazon.com”のほかにも、“Better World Books”と“alibris”がお勧めです。私は、“Better World Books”と“alibris”にはもう20年以上お世話になっています。“Better World Books”は本が日本に届くまでに少し時間がかかりますがとにかく値段が安く、送料を含めて1000円程度でかなりの専門書が手に入ります。“alibris”は送料が少し高いですが、わりと早くに本を入手できます。絶版本や、旧版は値段がぐっと下がり、お買い得です。翻訳本を見て、原著が読みたいと思った方は、これらのネット古本屋をあたってみてください。

次に「古」から「新」を生み出す例をみましょう。平成11年に発足した恵庭市図書館ボランティア『黄色いエプロンの会』は、春と秋に本のリサイクル市を開催しています。朝10時から図書館入り口で開催される古本市には、多数の市民がかけつけ、お気に入りの本をごっそり自転車に積んだりしています。仕組みはこうです。市民は、読み終えた本や家庭で眠ったままになっている古本を、図書館内に設置された古本回収ボックスに入れます。提供された本は清掃・修理が施

され、その多くは無料で提供され、一部は10円～50円程度の安価で販売されます。リサイクル市の売上金は新本購入代金となり、この新本は図書館へ寄贈されま



古本『グントの心理学』の表紙と東北大学図書館所蔵のグント文庫のパンフレット

す。寄贈は11年連続20回。寄贈された本は300冊、提供金額合計は100万円に迫ろうとしています。これは本を用いた「古」から「新」を生み出す試みです。また「往時を感じる炭鉱施設とヤマで営まれた生活文化は今も息づいている」と伝える『空知産業遺産と観光』のホームページは、朽ち果てた産業遺産は人の思いを得て新たな産業を呼び覚ますことを感じさせてくれます。これは炭鉱を用いた「古」から「新」を生み出す試みです。では「古」から「新」を生み出す原動力は何でしょうか？ 私はそれにまつわる「ある思い」が関わっているのではないかと考えています。対象は何であれ、古いものには何かしら“人の思い”が付随しているのは確かなようです。

「古」が紡ぎ出す「ある思い」は、南木佳士著『阿弥陀堂だより』にも見事に描かれています。「子どもの息づかい」「生命の重さ」「老いた者から子どもへ思いの受け渡し」が縦横に展開します。今日、保育学領域では、「親子の絆」「愛着」「虐待」など、「人間関係」が話題となっています。これらは最も古いテーマでありながら、新しいテーマのように扱われているのが実に不思議です。新規な用語に振り回されず、本質を見極めていくという姿勢が大切なのでしょう。

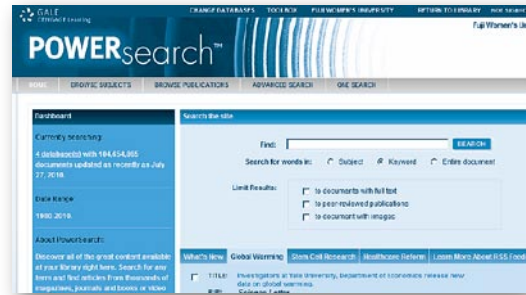
困窮→古本屋通い→古本の価値・良さを知る→古本屋から古本→古本から古→古から「人の思い」へ、そして今、「思い」が私の研究テーマとなっています。何がどんなふうに関わり展開するのかわからないというのが現実でありおもしろい。私にはこの「わからなさ」が人を動かす原動力になっているように思えるのです。

■ 新規データベース利用案内 ■



アカデミックワンファイル

英語の論文、記事をお探しの方にオススメ。
ユーザー登録すると、自分専用の画面にカスタマイズ
できます。学術雑誌から一般の読み物まで幅広く収録。
オンラインで本文が読めないものもありますが、その
場合は藤女子大学にないかOPACで検索してみてください。
本学にないものは他大学に申し込みできますよ。



農文協の会員制データベース ルールル電子図書館

ルールル電子図書館

ルールル電子図書館とは、食・農・暮らしの総合
オンラインデータベースです。「食・くらし館」「し
らべ学習館」「農業入門館」「農業技術館」の4つ
の専門館から構成されています。
「日本の食生活全集」「食品加工総覧」などの図
書が検索できるほか、ビデオライブラリーや写真
なども豊富です。
ちなみに、ルールルとは「田舎の」「農村の」の
意味です。



知識探索サイト ジャパンナレッジ プラス JapanKnowledge+ アップデートのお知らせ

昨年度導入したJapanKnowledge+ですが、アップデートにより日々内容が充実しているのはご
存知ですか？

今年のアップデートの目玉は「**国史大辞典**」。書籍版も
もちろん図書館にあります。参考文献検索」など、デー
タベースならではの使い方ができます！



「**新編日本古典文学全集**」もオススメ。
全文検索が可能です。また検索の範囲も古
典本文、現代語訳、頭註などの指定がで
きます。まだ源氏物語の検索のみですが、順
次アップデートされる予定です。

また、「**世界文学大事典**」や、「**フランス語やイタリア語などの語学辞典**」などもアップデートされ、
ますます便利になっています。ぜひ学習・研究のおともにご利用ください！

☆いずれのデータベースも図書館ホームページのトップからご利用いただけます（学内のPCのみ）☆

本館展示紹介

学生さんのオススメ本コーナー

学生さんにお気に入りの本を紹介してもらっているこの企画。本館では2009年度から始めて、計4人の学生さんに展示してもらいました。展示を終えてのコメントを、楽しい手作りポップの写真と一緒にご紹介します。

第一回

日本語・日本文学科4年
梶原さん



コメント♪

本を選んだ時に意識したものは「言葉」です。言語学者による語学学習への提言や移民二世が対面する両親が使う言葉と自分が使う言葉の相違、さらに洋書とその和訳など。またロシア語通訳故米原万里さんの著作とともに本文中に登場する映画も展示しました。日頃当たり前使用前本を読む際にもお世話になっている「言葉」を、展示を通して違った角度から楽しんでもらえたらと思い本を選びました。

梶原さんのオススメ本リスト

- | | |
|------------------------------|--------------|
| 1. 鞆に本だけつめこんで | 019/Mu67 |
| 2. 寝ながら学べる構造主義 | 116/U14 |
| 3. ローマは一日にして成らず | 232/Sh75/1 |
| 4. ハンニバル戦記 | 232/Sh75/2 |
| 5. 注文の多い言語学 | 801/C47 |
| 6. 英語のたくらみ、フランス語のたわむれ | 807/Sa25 |
| 7. 塩野七生「ローマ人の物語」スペシャル・ガイドブック | 232/Sh75s |
| 8. あかんべえ | 913.6/MI71 |
| 9. 嘘つきアーニヤの真つ赤な真実 | 914.6/Y82 |
| 10. わが名はアラム | A933.5/Sa69 |
| 11. My name is Aram | A933.5/Sa69m |
| 12. 赤と黒 (DVD) | |
| 13. グッバイ・レーニン! (DVD) | |

第二回

日本語・日本文学科4年 佐藤さん



コメント♪

私は、オススメ本を選ぶ作業とポップ作りにとっても苦労しました。最初は自分が好きな文学作品などばかり選んでいましたが、途中から面白いのにあまり知られていない本にスポットを当てました。帯のデザインや外国の切手など、紹介できて嬉しく思います。しかしながら、ポップ作りは本当に大変でした。人にインパクトを与え、興味を持ってもらうことの難しさを実感しました。でも楽しかったのも事実なので、またいつかやってみたいです！

佐藤さんのオススメ本リスト

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 黄土の奔流 | 913.6/I 38 |
| 2. グリコのおまけ | 759/G95 |
| 3. 狐島の唄 | 918.6/E24k/7 |
| 4. テロリストのパラソル | 913.6/F 68 |
| 5. 世界人名ものがたり | 281/U64 |
| 6. センセイの鞆 | 913.6/Ka94 |
| 7. 帯のデザイン | 022/O14 |
| 8. こんにやくの中の日本史 | 619/Ta67 |
| 9. 切手で旅するヨーロッパ | 693/Y19 |
| 10. 比類なきジューズ | 933.9/W82 |

第三回

日本語・日本文学科4年 山口さん & 英語文化学科3年 山本さん

コメント♪

私、山口が今回紹介したオススメ本は、飲み物系と不思議系です。飲み物系は、紅茶・ジュース・カクテルと、ホッとおちついたり、皆で楽しんだり、なんだかディープな大人の世界に浸ったりと、見ても作っても飲んでもおいしい本を選びました。不思議系は、怖く…無い?おばけ達(むしろ感動)と怪しさ満点のおまじない本です。後者はちょっと危険かも。このように、とことん趣味に走った本連ですが皆さんが手にとって楽しんでくれたら幸いです。



コメント♪

今回本を展示するにあたって、「見ているだけで楽しい本」をテーマにいくつか選んでみました。普段あまり本を読まない人にも手にとってもらえるように、タイトルから興味をそそられるもの、絵や写真がたくさん載っているものを選びました。大学に入って自炊を始めた方には、簡単に作れるレシピ本を展示していますので是非そのレシピ本を見ていただきたいです。あとお勧めなのは、「不思議の国のアリス」の謎を解いた本です。これは皆さんに楽しんでいただけたと思います。その他にパーピー人形の魅力が書かれた本や、現代のふるしきが紹介された本を展示していますので是非ご覧ください。



山口さんのオススメ本リスト

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 呪(まじな)い完全マニュアル | 147/Se62 |
| 2. 映画じかけのカクテル | 596.7/E37 |
| 3. フルーツジュース:ヘルシー&テイスティ | 596.7/F94 |
| 4. 江戸化物草子 | 388.1/Ka11 |
| 5. 大江戸化物細見 | 〃 |

山本さんのオススメ本リスト

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. チェシャ猫はどこに行ったか | 933.8/C22k |
| 2. パーピーからはじまった | 759/C47 |
| 3. モダンふるしき案内 | 387/Sa75 |
| 4. レシピじゃわからない料理の知恵 | 596/R28 |
| 5. 朝つくらぬお弁当の手帖 | 596/U39 |

中国の車窓から



「それは日本語の本だろう？ きみは日本語が分かるのか？」列車に乗っていると、向かいに座っている中国人が、わたしの手もとにあった一冊の本を指さして声をかけた。それは佐藤郁哉『フィールドワークの技法』（新曜社、2002）だった。その列車は、中国の江南地方、杭州市から北へ向かっていた。列車で移動すると、ほぼ必ずといっていいほど、向かいに座った人に「わたしは日本人です。」と自己紹介をし、「これこれの目的で、どこどこに向かっている。」ということ、話すことになる。「彼はいるのか？」、「どんな仕事をしているんだ？」なんてことを根掘り葉掘りきかれ、やがて食事の時間が近づくと、網棚の荷物の中からおやつ、果物、カップラーメンなどが出てきて、「一緒に食べよう」ということになる。さながら関口知宏の鉄道の旅といったところだろう。列車での移動は、ネイティブと話す格好の勉強の場だ。列車の中ではたっぷり時間がある。相手も辛抱強く付き合ってくれるし、紙とペンと辞書があれば、ことばに訛りがあっても相手の言うことはあらかた理解できる。



キリギリス（天津市）

このとき天津市に向かっていた。それは、一冊の本のなかにある「作品」を見るためだった。その「作品」というのは、飴細工だ。そこには、べっこう飴で作られた立体的なキリギリスと金魚の写真があった。中国には影絵、切絵、泥人形など、多種多様な民間芸術があるが、とりわけ、中国各地の飴細工をこの目で見てみたかった。あるとき、いきつけの本屋で王連海『玩具之旅』（中国旅遊出版社、2006）という本を見つけた。そこには作品の写真と都市のみ表記があり、職人がその町のどこで活動しているのか、検討もつかない。そこで図書館と本屋に行き、中国民間芸術辞典をいくつか引いてみた。すると各地に飴細工があることがわかった。インターネットでその地方の新聞記事から職人の名前と、最近行われたイベントの場所を割り出し、そこを目指した。

天津市に到着し、職人にめぐり合えたときは、『玩具之旅』のその作品の頁を開いて「これを見て、ここまでやってきたんだ。」と語った。こういったことを繰り返し、幾人もの職人に会い、またさまざまな飴細工を目にすることができた。中国では、都市に行けば大型書店もあるため新刊本の入手は比較的簡単だが、時間の経っているものは「孔夫子旧书网」という古本屋サイトを使って購入した。このサイトを利用して入手した本を手にも四川省に出かけたことがあったが、ひょんなことから筆者にお会いし、お話をする機会を得た。一冊の本から、いろいろな出会いが生まれるものだ。



ツバメ（湖南省長沙市）



自転車（四川省成都市）



龍（四川省成都市）

天津市に到着し、職人にめぐり合えたときは、『玩具之旅』のその作品の頁を開いて「これを見て、ここまでやってきたんだ。」と語った。こういったことを繰り返し、幾人もの職人に会い、またさまざまな飴細工を目にすることができた。

中国では、都市に行けば大型書店もあるため新刊本の入手は比較的簡単だが、時間の経っているものは「孔夫子旧书网」という古本屋サイトを使って購入した。このサイトを利用して入手した本を手にも四川省に出かけたことがあったが、ひょんなことから筆者にお会いし、お話をする機会を得た。一冊の本から、いろいろな出会いが生まれるものだ。

（本学図書館員）

中学生の 大学図書館体験



8月23日から24日の2日間、石狩市立樽川中学校の生徒2名が、藤女子大学図書館花川館で職業体験学習を行いました。中学校では、委員会活動として図書局員をしているそうです。樽川中学の3年生は、この2日間に、皆さまさまざまな職場に向き、「実体験を重視した学習」をテーマに職業体験を行いました。2人は、本が好きだということ

でこれを機に藤女子大学図書館花川館へやってきたのでした。

職業体験学習1日目は、藤女子大学の施設の案内、大学図書館サービスの概要を説明しました。それから貸出・返却業務、配架・整齊作業を体験してもらいました。中学校でも、本に貼付した管理用バーコードラベルを利用して貸出・返却を行っているそうです。



2日目は、レファレンス、相互貸借、利用者への図書館ガイダンスについてお話ししました。大学では、レポートや卒業論文を書くために図書館の利用が必要となるので、まず大学生の卒論タイトルを見てもらいました。すると、「保育士になるために、こんなに難しいことをやっているんだ。」と驚く場面もありました。またCiNiiやJDreamⅡや日経テレコン21など、データベースの利用の仕方も学び、「樽川中学」をキーワードとして入力し、新聞記事検索を行うなど

請求記号ラベルの貼付)を体験してもらいました。

2人とも手早く作業をしているので「中学校の図書館では、いつも配架をしているの?」と尋ねると、「配架は本を返却した利用者本人が行っているから、図書局員は配架作業をしていません。」「配架・整齊も楽しいですね。」とお話ししてくれました。2日目の後半になると、配架・整齊も職員がつききりで指導をしなくても、スイスイと作業ができるようになっていました。職業体験学習にくる中学生の受け入れは、今年で3年目となります。たった2日間の体験ですが、この職業体験が将来何かの役に立つことを願っております。今後も、藤女子大学図書館は、職業体験学習だけではなく地域に貢献するサービスを提供していけるよう努力して参ります。

来年春から文部科学省より、大学生の社会的・職業的自立を図るための必要な知識、技能、態度を育むキャリア教育が、義務付けられることになりました。大学としても、こうした教育について組織的に取り組むことが求められています。



図書館委員会からのお知らせ

・2010年度図書館委員

図書館長

内田 博 (人間生活学部・人間生活学科)

委員・文学部

平松 哲司 (英語文化学科)

種田和加子 (日本語・日本文学科)

榎瀧 弘市 (文化総合学科)

委員・人間生活学科

木村 晶子 (人間生活学科)

知地 英征 (食物栄養学科)

小山 充道 (保育学科)

7) シュマウス文庫の整理を開始

8) 閲覧用雑誌の見直しのため利用状況を把握

9) 雑誌Cランク全般の見直しを実施

10) 当面の所蔵スペース確保の検討を継続

・雑誌Cランク全般の見直し結果について

2010年度第2回図書館委員会 (6月1日開催) において実施が決定

期間: 2010年6月1日～7月5日まで

対象: 本館951タイトル、花川館157タイトル

方法: 対象誌リストを元に各学科でCランク (10年間保存) が適当か検討いただく

結果: Cランクが適当とされた雑誌 本館102誌、花川館112誌

これ以外の雑誌、本館849誌、花川館45誌はBランク (50年間保存) とする

今後: 雑誌、特に各大学発行の紀要類の電子化が進行していることから媒体の変更も視野に雑誌全般について保存の在り方を検討する

・2010年度図書館委員会として実行すべき課題

- 1) 図書館中期五ヶ年計画の3年次の活動
- 2) 大学基準協会大学評価への対応
- 3) 運営体制を試行
- 4) 学術研究コンテンツの整備・利用促進を継続
- 5) 学習基本図書の本整備・促進を継続
- 6) 教員と連携した利用者教育の促進

図書館のキャラクターを募集します!

図書館をもっと親しみやすく感じていただけるようなキャラクターを募集します。採用された方には図書券を進呈します。募集期間は11月末までです。詳しい募集内容はHPまたは学内のポスターをご覧ください。

熱い思いをイラストにぶつけるもよし、図書券目当てもよし、みなさんの素敵な作品をお待ちしています♪



人事異動のお知らせ

(2010年4月1日付)

中村 友昭 (花川館情報サービス係→目録情報係へ配置換え)

槻 奈津美 (本館情報サービス係・採用)

中村奈緒美 (花川館情報サービス係・採用)

西 友里恵 (目録情報係・採用)

図書館員の **オ ス ス メ 本** ～第9回～

今は外食もお惣菜もおいしいものばかりで、しかも手間いらず。つつい手が伸びてしまいますね。でも外食は油分も塩分も思った以上に使われていて、カロリーも多めです。そこでオススメしたいのが手づくり弁当。「お弁当なんて面倒くさい」「おかずを作る時間がない」と思いがちですが、実はあつという間にできてしまうものです。小さい頃は両親に作ってもらった味、これからは自分のため・友達のため・大切な人のために、作って楽しい、食べておいしいお弁当の本をご紹介します。

【朝つくらないお弁当の手帖】 本館所蔵 596 / U39

朝の時間は貴重です。今日は何を着ようか、髪型はどうしようか、悩む時間も大切。そこで、朝は詰めるだけのお弁当はいかがでしょう？休日には少し作っておくだけで、オリジナルお弁当が出来上がりますよ。



【おべんとうのために考えたかんたん薬膳クッキング】 本館所蔵 596 / O13

「薬膳」といえば某韓国ドラマでも薬膳料理が出ていましたね。昔からバランスの取れたおいしい食事をとることで病気を予防することは大切なことだと見なされてきました。それをおかずとして取り入れて自分の体調にあつたお弁当を作ってみましょう。



【サルビア給食室のおいしいお弁当手帖】 花川館所蔵 596 / W46

食事は彩りなどの見た目がおいしそうだと食欲が増しますね。それはお弁当も同じです。おかずを作ったはいいいけれど、どういう風にお弁当箱に詰めたらおいしそうか、人気のお弁当店の真似をしてプロのお弁当に近づけてみてはいかがですか？



【世界のお弁当：心をつなぐ味レシピ55】 花川館所蔵 596 / H44

お弁当は世界各国、おかずもいろいろなら、お弁当箱もいろいろです。インドはカレーを入れられるお弁当箱、ドイツは環境大国だけあってリサイクル可能なお弁当箱。お弁当箱もおかずに合った工夫がされています。お菓子の詰め合わせのようなお弁当の国もありますよ。



／編／集／後／記／

巻頭言に「古本屋物語」と題して保育学科・小山充道先生からご寄稿いただきました。学生の皆さんは古本屋さんに行ったことがありますか？おもしろい出会いがあるかもしれませんよ。小山先生、お忙しい中ありがとうございました。

この秋図書館では二つほど企画を予定しています。一つ目は「図書館キャラクター」の募集です。11月末日まで受け付けていますので、皆さんぜひご応募ください。また、今回「学生さんのオススメ本コーナー」の記事が載りましたが、学生さんによる企画展示が10月より本館で始まります。企画立案からポップ作りまで、全て学生さんにお任せしました。場所は、本館入口すぐの展示コーナーで、大学祭の一般公開期間中も展示する予定です。力作が待っていますので、ぜひご来館ください！

藤女子大学 図書館だより 第80号 2010.10

発行者 札幌市北区北16条西2丁目 藤女子大学図書館

TEL 011-736-5407 FAX 011-709-4770

<http://library.fujijoshi.ac.jp/>

